

鈴鹿医療科学大学 研究データポリシー(基本方針)

1. 目的

鈴鹿医療科学大学は、医療・福祉分野における研究活動の信頼性・透明性・再現性を高めるとともに、研究成果を社会に還元するため、研究データの適切な管理と利用を推進します。

本基本方針は、研究データの取扱いに関する大学としての統一的な指針を示し、研究者の責任あるデータマネジメントを支援することを目的とします。

2. 適用範囲

本学に所属する教職員・研究者・学生・研究協力者が行う研究活動における全ての研究データに適用します。共同研究・受託研究などにおいては、相手機関の方針と調整を行い、適切な対応を図ります。

3. 基本原則

- **倫理・法令遵守の徹底**: 個人情報、医療情報、インフォームド・コンセント、研究倫理審査など、関連法令・ガイドラインを厳守する。
- **データの信頼性確保**: 収集・整理・保存・分析の各過程で、再現可能性を担保する。
- **保護とセキュリティの確保**: 特に機微性の高い医療・福祉データについては、厳格な安全管理措置を講じる。
- **共有と社会的還元**: 個人・組織の権利を尊重しつつ、可能な範囲で研究データを公開し、学術・実務・政策への貢献を目指す。
- **大学としての支援責任**: 本学は、研究者がこれらの原則を実践できるよう、制度・人材・環境面から支援する。